

組合員・お取引先のみなさまへ

けんしん

経営内容のお知らせ

速報版ミニディスクロージャー

平成 22 年 6 月発行

新潟縣信用組合

自己資本比率

※記載金額、率とも、単位未満を切り捨てて表示しております
 ※増減数値は、各表中記載数値に基づく増減で表示しております

(金額単位:百万円)

	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期
自己資本比率	8.14%	7.59%	8.23%
自己資本額	13,069	11,722	12,761

○自己資本比率は前期比0.64ポイント上昇し8.23%となり、必要とされる基準を引き続き大きく上回っております。
 自己資本額は、利益計上により前期比10億円増加しました。

主要経営指標の推移

(単位:百万円)

	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期
経常収益	7,775	7,563	7,820
業務純益	782	△ 1,539	1,071
経常利益	△ 1,378	△ 3,566	827
当期純利益	△ 1,404	△ 3,807	1,077

○業務純益は、有価証券売却益の増加・償却の減少等により1,071百万円を計上しました。
 当期純利益については、与信費用及び減損損失の減少等により1,077百万円を計上しました。

(単位:百万円)

	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期
預金残高	358,256	359,216	363,221
うち個人預金	300,739	301,341	306,516
貸出金残高	168,820	167,443	170,725
うち個人ローン	41,025	39,365	38,822
預かり資産取扱高	21,813	24,757	27,125
有価証券残高	122,594	117,783	121,375
有価証券評価差額	△ 3,374	△ 5,834	△ 1,584
総資産額	373,105	368,693	377,178

○預金残高は前期比40億円の増加、貸出金残高は32億円の増加となりました。(内 両津信用組合との合併により、
 預金残高は38億円の増加、貸出金残高は25億円の増加となりました。)

○預かり資産の取扱高は、前期比23億円の増加となりました。

○有価証券評価差額は、評価益合計額から評価損合計額を差し引いた額であり(満期保有目的有価証券の評価損益を含んでいます)、前期比42億円の改善が図られました。また、著しく価値が下落したものは減損処理(簿価下げ)を行っています。

(金額単位:百万円)

	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期
出資金額	2,238	2,240	2,398
組合員数	89,297人	88,216人	89,961人
職員数	485人	481人	491人

不良債権の状況

■リスク管理債権(貸出金)

(金額単位:百万円)

	平成21年3月期	平成22年3月期	増減
① 破綻先債権額	1,659	919	△739
② 延滞債権額	8,174	7,115	△1,059
③ 3か月以上延滞債権額	40	55	14
④ 貸出条件緩和債権額	54	106	52
合計=①+②+③+④	9,928	8,196	△1,731

○リスク管理債権は、協同組合による金融事業に関する法律施行規則に基づいて開示する不良債権情報です。対象となる債権は、貸出金のみです。

○金融再生法による開示債権は、金融再生法(金融機能の再生のための緊急措置に関する法律)に基づいて行う資産査定の結果を開示する不良債権情報です。対象となる債権は貸出金に加え、未収利息、仮払金、債務保証見返などが含まれます。

■金融再生法による開示債権と引当の状況(貸出金、未収利息、仮払金、債務保証見返など)

(金額単位:百万円)

	平成21年3月期		平成22年3月期					不良債権額 増減 (A)-(A')
	債権額 (A')	保全率	債権額 (A)	担保等保全額 (B)	貸倒引当金 (C)	保全率 [(B)+(C)]/(A)	引当率 (C)/[(A)-(B)]	
① 破産更生債権等	5,852	100.00%	4,052	2,805	1,247	100.00%	100.00%	△1,799
破綻先債権	1,669	100.00%	925	626	298	100.00%	100.00%	△744
実質破綻先債権	4,182	100.00%	3,127	2,178	948	100.00%	100.00%	△1,055
② 危険債権	4,083	77.63%	4,006	2,428	822	81.14%	52.12%	△77
③ 破産更生債権等・危険債権 =①+②	9,935	90.82%	8,058	5,233	2,070	90.62%	73.26%	△1,876
④ 要管理債権	94	53.19%	161	50	23	45.46%	20.87%	66
⑤ 小計=③+④	10,029	90.46%	8,220	5,283	2,093	89.73%	71.27%	△1,809
⑥ 正常債権	158,216		163,252		422			
⑦ 債権額合計=⑤+⑥	168,246		171,472		2,515			
債権額に占める割合⑤÷⑦	5.96%		4.79%					△1.17

○取引先企業の倒産や財務内容の悪化などもありましたが、経営改善計画書などの策定により、不良債権額は18億円減少しました。

○保全率とは、破産更生債権等・危険債権・要管理債権について担保等や貸倒引当金によってどの程度保全されているかを示す比率です。

保全率(%) = (担保等保全額 + 貸倒引当金) ÷ 債権額 × 100

○引当率とは、担保・保証等保全のない債権について貸倒引当金によってどの程度引き当てられているかを示す比率です。

引当率(%) = 貸倒引当金 ÷ (債権額 - 担保等保全額) × 100

■不良債権の処理額

(単位:百万円)

	平成21年3月期	平成22年3月期
個別貸倒引当金純繰入額	105	△182
貸出金償却額	366	333
貸出金売却損	22	4
合計	494	156

■貸倒引当金の残高

(単位:百万円)

	平成21年3月期	平成22年3月期
一般貸倒引当金	473 (△303)	445 (△27)
個別貸倒引当金	2,812 (△440)	2,070 (△742)
引当金合計	3,285 (△743)	2,515 (△770)

()内は期中の増減額です。

○平成22年3月期の不良債権処理は、貸出金売却損及び引当金、償却が減少したことにより、前期より338百万円減少しました。

○貸倒引当金残高は、不良債権額の減少により、770百万円減少しました。

◎全般的な決算及び経営の健全性については、新日本有限責任監査法人より監査を受けております。